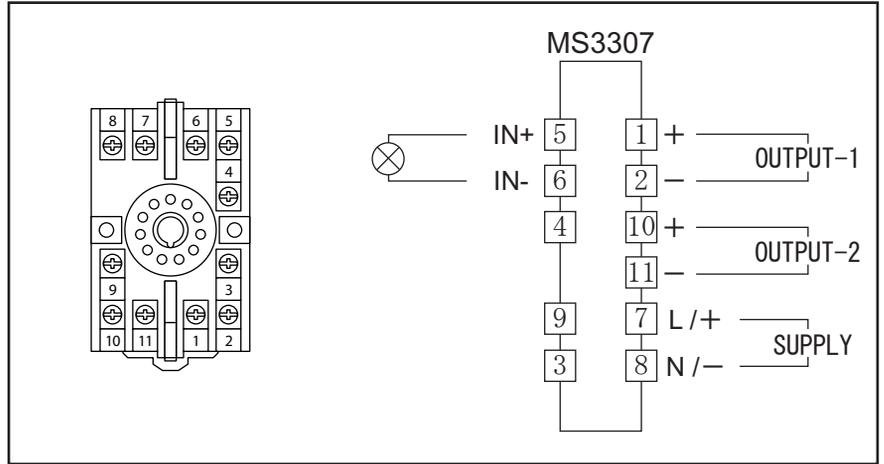


接続の方法

MS3307に対する入力、接点出力、駆動電源の接続は、すべてソケットのネジ端子に対しておこないます。右図にソケットの端子配列を示します。

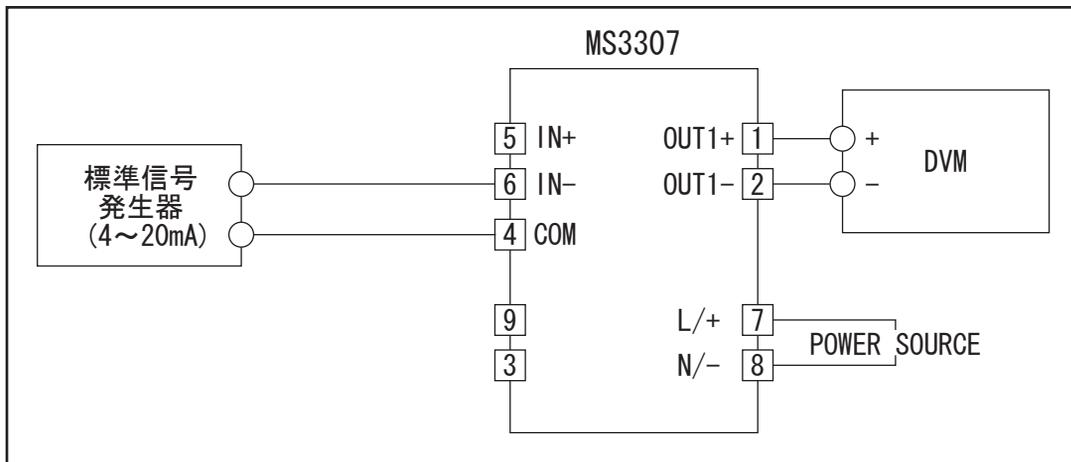


校正の方法

◆信号変換器の校正は熟練を要する作業です。校正の必要な場合は、なるべく弊社の再校正サービスをお受けください。やむを得ずお客様側で校正する場合は下記を参照して行ってください。

① 下図に従い各機器を接続してください。

(接続作業は、すべての機器の電源をOFFにして行ってください。)



- ② 上図の状態を書く機器に電源を投入し、その後最低30分間のウォーミング・アップを行ってください。このウォーミング・アップが不十分ですと、正確な校正ができません。
- ③ 信号発生器の出力4mAに設定して下さい。
- ④ 上記③の状態でもS3307本体右下にあるゼロ・トリマ（右側にZと印字してある方）をゆっくりと回転させ、MS3307NO出力が0%となるように調整して下さい。
- ⑤ 信号発生器の出力を20mAに設定して下さい。
- ⑥ 上記⑤の状態でも、MS3307本体前面右下にあるスパン・トリマ（右側にSと印字してある方）をゆっくりと回転させ、MS3307の出力が100%となるように調整して下さい。
- ⑦ 上記③～⑥を数回繰り返して、ゼロ、スパンともに完全に調整して下さい。
- ⑧ 信号発生器の出力を入力レンジ25%、50%、75%相当に準じ調整し、各々の出力値を記録して直線性の確認を行ってください。